

前年度比 43億5,283万円増

令和6年度 一般会計予算の歳入歳出総額

459億6,300万円

予算
審議

可決

令和6年度一般会計予算額は、前年度比43億5,282万円増の459億6,300万円、歳出の増減率は10.5%の増となりました。6年連続で400億円を超え、過去最高の規模の予算額となっています。本年度の予算の特徴として、第8次多治見市総合計画の「市民が主役！躍動するまち 多治見」で掲げる事業の推進および市長マニフェストの着実な実行のため、積極的な予算編成がされています。

予算科目別に見た前年度予算額との比較では、総務費、消防費、教育費が特に増えており、総務費は、前年度比10億1,930万円、24.1%の増となりました。主な事業としては、新本庁舎建設事業費、コンビニ交付等窓口DX推進費などがあります。消防費は、前年度比10億9,363万円、72.6%の増となりました。主な事業としては、北消防署移転整備事業費などがあります。教育費は、前年度比15億3,467万円、23.6%の増となりました。主な事業としては、笠原小中学校建設事業費、養正公民館機能統合事業費、星ヶ台運動公園整備事業費などがあります。

令和6年度の事業の一部をご紹介します。

令和6年度の事業の一部を紹介

中央自動車道跨道橋撤去事業費

3億7,000万円



中日本高速道路株式会社の助成金を活用して、1橋（富士見橋）の撤去工事を行います。

笠原小中学校建設事業費

21億2,463万円



笠原地区における幼保小中一貫教育を推進するため、小中一貫校（義務教育学校）の建設に向けた取り組みを進めます。令和6年度は、小学校の解体と新校舎の建設を行います。

養正公民館機能統合事業費

5億8,641万円



令和7年4月に（仮称）養正交流センターとしてリニューアルオープンとなる養正公民館の大規模改修工事を行います。

コンビニ交付等窓口DX推進費

2,573万円



住民票等証明書のコンビニ交付、キャッシュレス決済対応セミセルフレジ、申請書作成支援機器（書かない窓口）、また、高田郵便局相談用タブレット端末を導入し、市民サービスの向上に努めます。

北消防署移転整備事業費

6億6,320万円



北消防署建設地

老朽化した北消防署庁舎の移転整備事業を進め、消防体制の充実強化を図ります。令和6年度は、建築工事（令和7年度までの継続事業）を行います。

星ヶ台運動公園整備事業費

2億7,117万円



星ヶ台運動公園の大規模整備事業を令和5年度から令和7年度にかけて行います。（令和7年度上半期に整備完了）

「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。
この議会だよりは1部当たり16.06円（税込み）で、38,950部作成しています。



リサイクル適性

たじみ議会だよりは環境に配慮した再生紙と植物油インキを使用しています。
この印刷物は、Aランクの資材のみを使用しており、印刷用の紙にリサイクルできます。

この印刷物を破棄する時は、燃やさないで、資源回収等に出しましょう。